土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　二級河川 沼田川水系 栃木川 通常砂防事業に伴う設計等業務委託

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	東広島市河内町　天神川堰堤中央部			北緯	34° 30’ 07.2200″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			調査期間	令和元年11月14日～ 令和元年11月18日	東経	132° 49’ 43.7200″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	223.96m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-0
総削孔長	10.00m								エンジン	ヤンマーNFD-80型	ポンプ	東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	222.21	1.75		礫混じり粘土質砂		暗褐	rd4		砂は細砂主体。 礫はφ2～5mm。 細粒分を30～40%程度含む。 GL-1.45mにφ60mmの礫を含む。	11/15 1.60 2.00
2	220.36	3.60		礫混じり砂		緑灰褐	rd3		砂は中砂主体。 礫はφ2～30mm。 細粒分を全体に含む。	
4	217.06	6.90		礫混じり砂		黄褐	rd3		砂は中～粗砂主体。 礫はφ2～50mm。 細粒分を全体に含む。 部分的に固結状を呈す。	11/18 4.15
7	215.46	8.50		風化花崗岩		褐灰	rd5		風化が著しく進行している。 ハンマーの軽打で礫状になる。 GL-7.85～8.05mは未風化部で硬質。 全体的にDH級。	
9	213.96	10.00		花崗岩		灰			短柱状主体で亀裂が多く確認できる。 全体的にコア肌は荒い。 GL-9.40～9.50mで礫状を呈す。 全体的にCL級。	

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	N値
1.15	2	17	11	30/300			30
1.45							
1.90	5	6	10	21/300			21
2.20							
2.70	5	6	6	17/300			17
3.00	7	6	6	19/300			19
3.15							
3.45							
4.15	11	7	7	25/300			25
4.45							
5.15	5	11	8	24/300			24
5.45							
6.15	3	7	15	25/300			25
6.45							
7.15	20	30		50/160	160		50以上
7.31		60					
8.00	貫入不能			50/0	0		50以上
9.00	貫入不能			50/0	0		50以上
10.00	貫入不能			50/0	0		50以上

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/14
				11/15
				11/18